

# PPP/PFIの推進について

平成28年3月25日  
産業競争力会議 第36回実行実現点検会合



内閣府 民間資金等活用事業推進室

# アクションプラン等の見直し

アクションプラン等の実効性を確保するため、

- ①PPP/PFI事業規模の実績を把握するため、事業規模の考え方等を整理。
- ②アクションプラン等を改定するとともに、PDCAサイクルを確立する。

## PPP/PFIの抜本改革に向けたアクションプラン (平成25年6月6日PFI推進会議決定)

民間と地域の双方にとって魅力的なPPP／PFI事業として、10年間(平成25～34年)で12兆円規模に及ぶ以下の類型による事業を重点的に推進する。

### ○ 事業類型及び事業規模

- (1) 公共施設等運営権制度を活用したPFI事業 : 2～3兆円※
  - (2) 収益施設の併設・活用など事業収入等で費用を回収するPFI事業等 : 3～4兆円※
  - (3) 公的不動産の有効活用など民間の提案を活かしたPPP事業 : 2兆円※
  - (4) その他の事業類型 : 3兆円※
- 10～12兆円※

※アクションプラン等改定に併せて見直し

## 集中強化期間の取組方針 (平成26年6月16日PFI推進会議決定)

アクションプランの取組を加速化し、公共施設等運営権方式について、集中強化期間・重点分野・数値目標を設定し、アクションプランの事業規模目標(10年間で2～3兆円)を前倒して、政府一体となって取り組む。

### ○ 集中強化期間、重点分野及び数値目標

- ・集中強化期間 : 3年間(平成26年度から28年度)  
→重点分野ごとに個別に期間を設定
- ・重点分野 : 空港、水道、下水道、道路
  - 新たな重点分野の追加を検討中(文教施設や公営住宅等の利用料金の存在する公共建築物)
  - ・コンセッションに限らず、収益施設併設型、公的不動産利活用型なども重点分野に追加
- ・数値目標
  - (1) 事業規模目標 : 2～3兆円※ (10年間の目標を前倒し)  
※アクションプラン等改定に併せて見直し
  - (2) 事業件数目標 : 空港6件 水道6件 下水道6件 道路1件

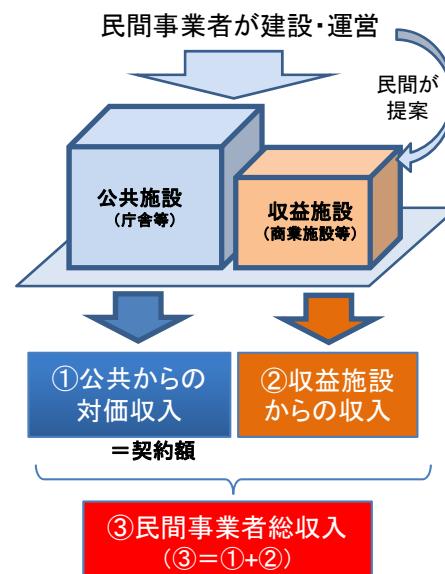
# ①事業規模目標の見直しに係る課題の整理

○事業規模目標見直しPTを設置し、公共施設の整備運営に民間活力を導入する方向で、アクションプランの事業規模の考え方、対象事業の範囲等を整理した。

## 課題①:事業規模の考え方

- ・事業規模によりPPP/PFI事業で生み出された民間の経済活動を測るという考え方に基づき、民間事業者の総収入を指標として把握。

### 例:収益施設併設型PFI事業



## 課題②:対象事業の範囲

- ・公共施設の整備等において民間の役割を拡大し、その創意工夫を活用するというPPPの目的に照らし、以下の3要件を満たす公共施設等の整備等に係る事業、公的不動産の利活用に係る事業を対象。

- ①従来の官民の役割分担を見直し、**民間事業者の役割を大幅に拡大**し、その主体性を幅広く認めるものであること
- ②協定等に基づき官民双方が**リスクを分担**すること
- ③民間事業者が事業実施にあたり**相当程度の裁量**を有し、創意工夫を活かすることで、事業の効率化やサービスの向上を図れること

## 課題③:事業規模の計測方法

- ・新たな調査により、事業の全数把握を行うと共に、推計に必要なデータを収集。

### 調査の概要

- ①全地方公共団体を対象としたアンケート調査
  - …PPP事業の全数把握
- ②サンプリング調査
  - …利益率等推計に必要なデータを取得

## ②アクションプラン等の改定とPDCAサイクルの確立

- H25,26年度のPPP/PFIの事業規模の推計をもとに、重点分野等の推進施策の見直しとともに、新たな事業規模目標を設定する。
- 改定したアクションプランの進捗状況は毎年フォローアップを行い、その結果に応じてアクションプランの見直しを行う。

### ○アクションプラン等のPDCAサイクル

